

エコアクション21 環境活動レポート

運用期間：2017年 4月 1日 ~ 2017年 6月 30日



 株式会社 大石組

<http://www.ooishigumi.co.jp/>

作成日： 2017/8/1

目 次

1. 事業概要
2. 環境方針
3. 実施体制
4. 環境目標と実績及び評価
5. 環境活動計画及び評価
6. 環境関連法規の遵守と訴訟などの有無
7. 環境上の緊急対策
8. 取組状況
9. 代表者による評価と見直し

1. 事業概要

事業所名及び 代表者名	株式会社 大石組 代表取締役 清 哲也
所在地 本社	〒418 - 0073 静岡県富士宮市弓沢町635番地 TEL 0544 - 26 - 0010 FAX 0544 - 24 - 5232 E-mail info@ooishigumi.co.jp
富士事業所	〒416 - 8530 静岡県富士市蓼原600番地 TEL 0545 - 61 - 5993
資材置場	静岡県富士宮市弓沢町973番地
会社設立	昭和28年 7月20日創業 昭和42年 6月 1日設立
管理責任者及び 担当者	管理責任者：山本 正東 事務局担当者：齊藤 一浩
事業内容	土木工事業、建築工事業
建設業許可業種	静岡県知事許可 (特 - 25) 第2608号 土木工事業 建築工事業 大工工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業 鉄筋工事業 舗装工事業 内装仕上工事業 建具工事業 水道施設工事業 (般 - 25) 第2608号 管工事業 機械器具設置工事業 静岡県知事登録 (4)第4167号 (株)大石組一級建築士事務所
資本金	4,500万円
事業年度	11月 1日 ~ 翌年10月31日
対象範囲	全組織・全活動
事業規模	

活動規模	単位	第48期 2013.11 ~ 2014.10	第49期 2014.11 ~ 2015.10	第50期 2015.11 ~ 2016.10
売上高	百万	1,314	1,184	1,403
従業員	人	26	27	26
事務所床面積	m ²	661	661	661
倉庫床面積	m ²	352	352	352

2. 環境方針

【基本理念】

株式会社大石組は、“『誠心・誠意』事に当たる”を社是とし、世界文化遺産となった富士山の構成資産である富士山本宮浅間大社のまち、富士宮市に昭和28年に創業した総合建設会社です。

われわれは、建設業としての事業活動が直接的・間接的に地球環境問題に及ぼす影響を深く認識し、この自然豊かな風土を守り、後世に残して行くために全従業員心を一つにし、環境保全・環境負荷削減に『誠心・誠意』取り組んでまいります。

【活動方針】

1. 事業活動では、環境負荷低減と環境改善のため次の取り組みを行います。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減(燃料使用量・電気使用量)
 - (2) 廃棄物の3R(減量・再使用・再生利用)の推進
 - (3) 水の使用量の削減
 - (4) 環境に配慮した施工
 - (5) グリーン購入の推進

2. 環境関連法、条例および規制等を遵守します。

3. 地域社会への貢献、ボランティア活動への参加等を積極的に行います。

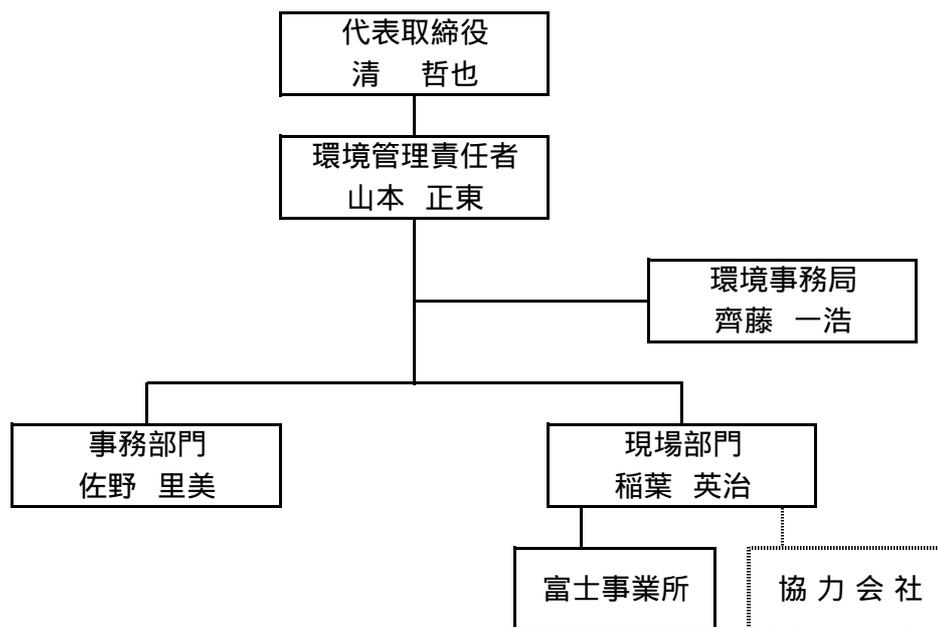
4. 環境啓発活動と環境改善の実施を継続的に行います。
 - (1) 全従業員にこの環境方針を伝え、周知徹底を図ります。
 - (2) 社内外に環境レポートを継続的に公開します。

制定年月日:2017年4月1日

株式会社大石組

代表取締役 清 哲也

3. 実施体制



推進役職	役割・責任・権限
代表取締役 清 哲也	エコアクション21に関する代表責任者 環境方針の制定、環境目標及び計画の承認 環境管理責任者の任命 必要な資源(人材・設備・資金)の準備 全体の評価と見直し
環境管理責任者 山本 正東	環境管理システムの構築、運用、維持、管理 環境目標及び環境活動計画の実施及び運用管理 環境関連法規等の確認 代表者への報告
環境事務局 齊藤 一浩	環境目標及び環境活動計画案の策定 取組に必要なデータの取りまとめ 環境関連法規等の取りまとめ 文書の作成、記録管理 環境活動レポートの作成
各部門長	現場における環境活動計画の実施 予防、是正処置の実施 環境教育、訓練及び緊急対策の実施 事務局への報告及びデータ提供
全従業員	環境方針の確認、理解 環境活動計画の実施
協力会社	エコアクション21の環境活動への協力

4. 環境目標と実績及び評価

環境目標と運用実績(2017.04～2017.06)

項目		基準年	目標			前年同月度	運用期間			
		第50期	第51期	第52期	第53期	第50期	2017.04～2017.06			
		2015 2015.11～2016.10	2016	2017	2018	2015 2016.04～2016.06				
		基準値	削減率	削減率	削減率	実績	削減 目標率	目標値	実績	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	99,421	-1.0%	-2.0%	-3.0%	19,740	-0.25%	19,691	18,421	○
電気使用量	kwh	69,724	-1.0%	-2.0%	-3.0%	12,893	-0.25%	12,861	11,464	○
ガソリン	ℓ	18,242	-1.0%	-2.0%	-3.0%	4,129	-0.25%	4,119	4,163	×
軽油	ℓ	4,737	-1.0%	-2.0%	-3.0%	1,165	-0.25%	1,162	839	○
灯油	ℓ	3,918	-1.0%	-2.0%	-3.0%	260	-0.25%	259	330	×
L P G	kg	4	-1.0%	-2.0%	-3.0%	1	-0.25%	1	0	○
水使用量	m ³	271	-1.0%	-2.0%	-3.0%	108	-0.25%	108	114	×
一般廃棄物	t	0.287	-1.0%	-2.0%	-3.0%	0.074	-0.25%	0.074	0.068	○
産業廃棄物	t	2,437.72	-1.0%	-2.0%	-3.0%	609.39	-0.25%	607.87	39.10	○
コピー用紙	t	0.45	-1.0%	-2.0%	-3.0%	0.10	-0.25%	0.10	0.09	○

・化学物質の使用はありません

・二酸化炭素排出係数は < 0.500kg-CO₂/kwh > を使用(平成27年東京電力の数値)

原因分析・是正処置

1. ガソリン使用量

前年同月に比べ仕事が増加したため、現場でのガソリン使用量が増加した。

エコドライブを心掛け、段取り等の事前準備をし、現場～資材置き場の往復を減らすよう努力する。

2. 灯油使用量

前年同月に比べ寒冷地での仕事が増加したため、現場での灯油使用量が増加した。

3. 水使用量

前年同月に比べ仕事が増加したため、水使用量が増加した。

節水に努め、使用量をおさえる。

5. 環境活動計画及び評価

(運用期間: 2017.04 ~ 2017.06)

取組項目		活動項目	運用期間活動計画			判定	取組評価	次年度取組
			4月	5月	6月			
二酸化炭素排出量の削減	電気	未使用時の消灯	節電の徹底			<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの設定温度と消灯については、シールを貼り周知徹底できた。 ・フィルター清掃は実施していない箇所があった。 ・OA機器の電源OFFは徹底できた。 	継続	
		空調温度管理(夏28・冬20)						
		エアコンフィルターの清掃						
		使用しないOA機器の電源OFF						
	灯油	室内温度管理(冬期のみストーブ使用)	室温管理	-	取組期間内該当せず	継続		
	ガソリン	エコドライブ	アイドリングストップと車両整備			<ul style="list-style-type: none"> ・各車両担当者によりバラツキがあるものの、エコドライブと車両整備の徹底はできた。 ・燃料調査は継続実施している。 	継続	
燃料調査								
車両の整備								
廃棄物の削減	一般廃棄物	両面コピー	裏紙利用の徹底と分別の徹底			<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙利用を重点に、コピー用紙の削減に努めた。 ・意識してミスプリントの防止に努めた。 ・ゴミ分別と削減に努めた。 	継続	
		ミスプリントの防止						
		裏紙利用						
		ゴミ分別						
	産業廃棄物	廃棄物の分別化	分別の徹底と再利用の促進			<ul style="list-style-type: none"> ・現場に周知徹底した。 	継続	
		仮設資材、用具の再利用化						
水使用量の削減	節水の実施	節水の徹底と管理			<ul style="list-style-type: none"> ・節水シールを貼り、節水に努めた。 ・漏水点検については異常なしでした。 	継続		
	漏水の定期点検							
グリーン購入推進	グリーン商品の調査・利用推進	購入促進			<ul style="list-style-type: none"> ・意識して購入した。 	継続		
社会貢献	会社周辺の清掃活動	清掃活動			<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の清掃活動を継続実施している。 ・ボランティア活動へは毎回参加している。 	継続		
	現場での地域貢献活動							
	建設組合・協会での地域ボランティア活動への参加							
環境教育	環境教育の実施	本社会議を活用			<ul style="list-style-type: none"> ・全社員が参加する会議を活用し、意識向上に努めた。 	継続		
緊急時の対応訓練	緊急時の対応訓練の実施	連絡体制の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡体制の確認のみ実施した。 	継続		

6. 環境関連法規の遵守と訴訟等の有無

・環境関連法規の遵守状況

対象	法規・条例・規制	適用項目・内容	遵守状況
工事現場	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	処理業者との委託契約書締結・保管	
		産業廃棄物の保管場所の掲示(60cm×60cm)	
		マニフェストの交付・回収・保管(5年間)	
		マニフェストの年間集計の知事報告(6月30日までに作成、提出)	
		投棄禁止	
		廃棄物の悪臭・飛散防止	
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	マニフェストの管理、処理計画・実施報告・マニフェスト交付報告の届出、管理責任者の設置、委託先の現地確認	
	建設リサイクル法	建設副産物の再資源化等の実施・報告・記録の作成	
	騒音・振動規制法	特定建設作業の届出、規制等の遵守	
	建築基準法	工事基準の遵守、各種申請手続きの適正処理	
	道路法・道路交通法	道路上での工事規制に伴う届出	
事業所全般	環境基本法	一般的な自主努力	
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの抑制措置、エコアクション21への取組	
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	
	グリーン購入法	環境物品の購入	
	自動車リサイクル法	引き取り業者への引き渡し	
	家電リサイクル法	指定家電の適正処分	
	PCリサイクル法	OA機器の適正処分	
	建設業法	工事事業者登録と更新及び技術士登録	

・環境関連法規の違反、訴訟の有無

環境関連法規及び条例への違反はありませんでした。

また、過去3年間にわたって関係機関よりの違反等の指摘、訴訟等もありませんでした。

7. 環境上の緊急対策

- ・人命を第一に優先行動し、環境への影響を最小限に食い止めるように最善を尽くす。
- ・社内での情報共有、関係外部への円滑な連絡に努める。
- ・事前に想定し、対応策を定め、定期的に訓練を実施する。
- ・備蓄品の在庫、備品の使用状況を確認する。

・緊急対応訓練

想定される緊急事態	対応策	訓練
作業中の地震	<ul style="list-style-type: none"> ・高所からの落下物や、転倒に注意し、危険な場所から離れ身の安全を守る。 ・人的被害がないかを確認後、電気や火の元を確認し、ヘルメットを着用し速やかに避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に備え、日頃から避難経路の確認や個々の役割分担を把握しておく。

・緊急時の連絡体制

災害対策本部 0544-26-0010 災害対策本部長：清哲也

管理責任者：山本正東

近隣住民 消防署等官公庁

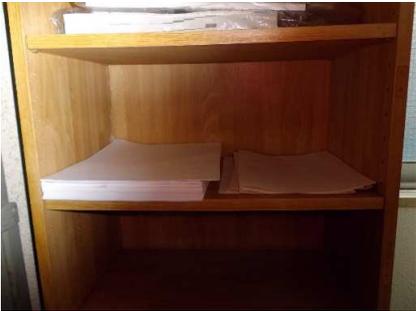
各部門責任者 土木部：深沢貞昭 建築部：稲葉英治 事務部：齊藤一浩
--

取引先の情報収集

全社員

取引先の情報収集

8. 取組状況

<p>電 気 未使用時の消灯の呼びかけ</p> 	<p>電 気 空調温度管理</p> 
<p>一般廃棄物 裏紙利用</p> 	<p>水使用量削減 節水の呼びかけ</p> 
<p>一般廃棄物 ゴミの分別 (PB・アルミ缶)</p> 	<p>一般廃棄物 ゴミの分別 (古紙)</p> 
<p>社会貢献 会社周辺の清掃活動</p> 	

9. 代表者による評価と見直し

評価日：2017.07.29

評価者：代表取締役 清 哲也 印

代表者による確認と見直し

項 目		確 認
1	環境目標の実績について	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標は達成できた。
2	環境活動計画の取組結果について	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組む。
3	環境関連法規の遵守について	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守できている。

代表者による内容の変更等

項 目	変更の有無	指 示 事 項
1 環境方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
2 環境目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
3 環境活動計画及び環境経営システム等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
4 その他	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

代表者による評価

平成29年4月1日のキックオフより運用開始の取組みについて総体的に評価致しますと、数値的な達成率は70%程度でした。しかしながら、二酸化炭素排出量については目標値を達成したものの、燃料関係、水使用量が目標数値未達でした。この起因については、昨年同時期と比較して今年の手持ち工事量が多かった為、様々な数値が増加した事が考えられます。

また、今回は運用期間が3ヶ月と短かったこともあり、思うような成果が出ませんでした。今後は1年を通して活動を続け、今以上のEA21の啓発活動を全社すみずみまで行き渡るよう努力致します。

結びに、当社の経営理念の中に、社会貢献をしてはじめて企業の体をなすという一文があります。まさにEA21の啓発の実行がこの経営理念に合致したものだと思っておりますので、社員一同一丸となって環境活動に邁進してまいります。